総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成27年度）

2. 分野等別状況（2）地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野（6/9）

	評価区分（※）	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
ながさき海洋・環境産業拠点特区 （長崎県等）	正	3.9	4.2 進捗度 ・県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量 99% ・県内造船所によるバラスト水処理装置の取扱件数 75% ・県内造船所等が建造に携わったあるいは県内に設置された海洋再生可能エネルギー利用発電設備の総設備容量 300%	3.6 規制の特例等 ・本工場と飛び地工場間の公道輸送に係る特例措置 等 財政支援等 ・地域活性化総合特区支援利子補給金 1件 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・海洋フロンティアプロジェクト推進事業 等	3.8	・バラスト水条約の発効遅れによる事業への影響は一部あるものの、当初の目標に向けて数多くの事業が精力的に実施され、概ね計画通り進捗していることは評価できる。 ・特に、規制緩和、地域ワーキンググループ、雇用創造プロジェクト等の多くの地域独自の取組が成果につながっている。 ・海洋再生可能エネルギー利用発電設備の普及拡大は今後2年間が正念場となるので、引き続き目標達成に努力されたい。

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書はこちら　◆評価結果はこちら